

《学習のねらい》

- ・クルマが与える環境への影響について学習するとともに、環境への興味や関心を持ち、実生活においても環境へ配慮した生活をしようとする態度を培う。

《取組みについて》

ガソリン車、ディーゼル車、天然ガス車、バス、燃料電池車、ハイブリッド車を下記の3つの学習を通して比較し、環境に配慮した工夫を理解する学習を行いました。



① 排気ガス調べ

- 靴下（白色）を使って、排気ガスによる汚れ具合を比較する実験
- CO₂を測定する実験

② 燃料電池車についての説明と試乗

- 大阪で2台しかない燃料電池車のメリットとデメリットについての話を聞く
- 燃料電池車への試乗



③ 人に配慮した車の工夫を見学

- 乗降時、車体が上下する
- 扉の開閉は、すべて空気圧で行っている
- 車いすのためのスペースと固定金具等がついている
- 障がいのある人への配慮がきちんとなされている など



《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

大阪府都市整備部交通道路室・大阪府商工労働部新エネルギー産業課
大阪府鳳土木事務所・国土交通省近畿運輸局・(株)エコトラック・南海バス(株)

《成果》

- 子どもたちは、初めて見る「燃料電池車」やCO₂の実験等に興味を持ち、乗車体験や実験に意欲的に参加することができた。環境への配慮に関心を持ち、日々の生活を見直すきっかけとなった。